

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1210 号	氏 名	北原 順一郎
論文審査担当者	主 査 桑原 宏一郎 副 査 藤永 康成・ 石塚 修		

(論文審査の結果の要旨)

本研究では原発性アルドステロン症(PA)において片側性病変の可能性が高い症例を鑑別するのに有用な指標について、迅速 ACTH 負荷試験における負荷後血清アルドステロン濃度 (PAC) /負荷前血清カリウム値比、及び生理食塩水負荷試験(SIT)の負荷後 PAC についてデータを収集し評価した。2010年4月から2019年3月までに信州大学病院、長野市民病院、伊那中央病院で迅速 ACTH 負荷試験かつ/または SIT を実施後 AVS を施行した PA 患者 79 例のうちアルドステロン拮抗薬使用例 2 例と AVS で副腎静脈挿入が失敗した 5 例を除外した 72 例について AVS で Lateralization index >4 を片側性、それ以下を両側性病変と定義し、各病変の背景と、前述の検査結果の各指標について受信者動作特性曲線 (ROC) を用いて診断精度を評価した。その結果、北原は以下の結果を得た。

1. 片側性では初診時 PAC が高値、初診時カリウム濃度は低値、カリウム補充の症例が多かった。
2. SIT は 42 例で 240 分後の PAC(PAC₂₄₀)の ROC はカットオフ値 133.7 pg/mL で、感度は 92.3%、特異度は 93.1%、AUC 0.92 だった。
3. 迅速 ACTH 負荷試験は 58 例で実施され、カリウムは負荷試験直前または 24 時間以内に 39 例で測定された。0、30、および 60 分の PAC /負荷試験前カリウム値比の ROC の AUC は、それぞれ 0.979、0.984、および 0.971 であり、PAC₃₀ /カリウムはカットオフ値 136.8 pg/mEq で感度 100%、特異度 95.5%であり、最も有用な指標であった。
4. 22 例で SIT と迅速 ACTH 負荷試験及び負荷前のカリウム測定が施行され、SIT での PAC₂₄₀ と迅速 ACTH 負荷試験での PAC₃₀ /カリウムの ROC の直接比較では PAC₃₀ /カリウムの方が高値であったが有意差はなかった。

これらの結果より迅速 ACTH 負荷試験における PAC₃₀ /カリウムは、SIT での PAC₂₄₀ と同様有用で、SIT の循環血漿量増加と長時間の検査時間を考慮すると、迅速 ACTH 負荷試験がより臨床的に有用と考えられた。

よって、主査、副査は一致して本論文を学位論文として価値があるものと認めた。